

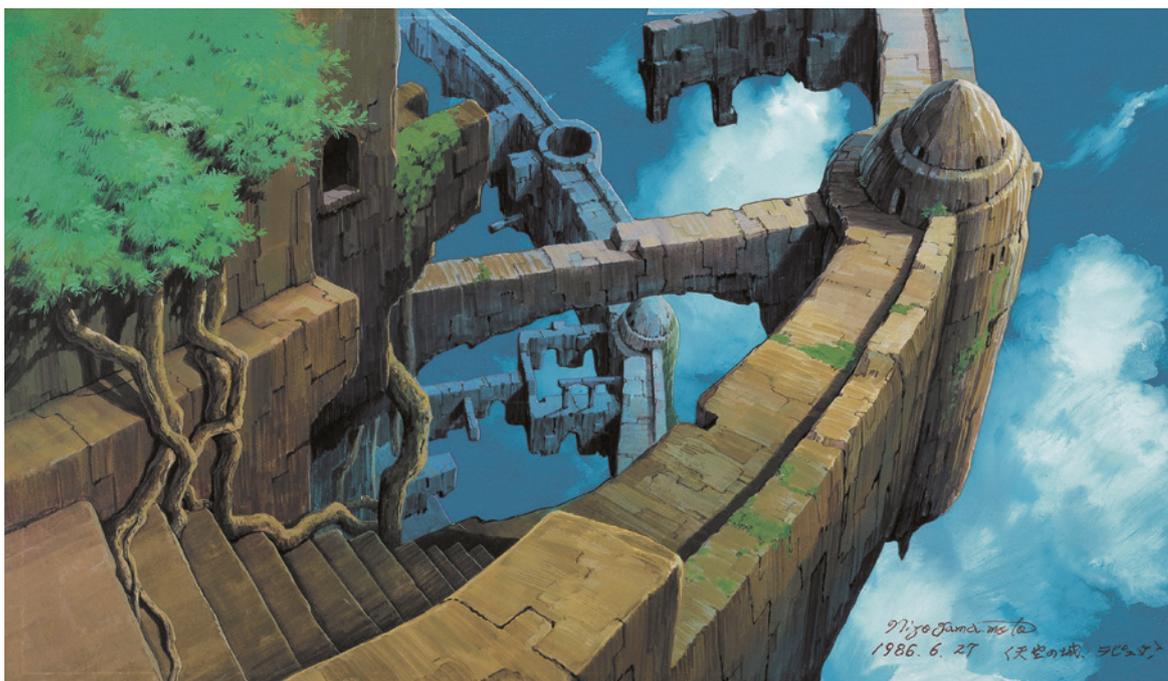
THE MEMORIAL

天空の城ラピュタ
火垂るの墓
もののけ姫
時をかける少女

アニメーション美術の創造者

新・山本二三展

いつまでも輝き続ける、山本二三背景美術の世界。



時をかける少女(権利渡譲画(1))2006年 ©「時をかける少女」製作委員会2006、天空の城ラピュタ(荒廃したラピュタ)1986年 ©1986 Studio Ghibli

2024
4/13 SAT - 6/16 SUN

K 神戸ファッション美術館
KOBÉ FASHION MUSEUM

| 開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで) | 休館日 | 月曜日、4月30日(火)、5月7日(火)(ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・祝)は開館)

| 観覧料 | 一般 1,000(800)円、大学生・神戸市外在住の65歳以上 500(400)円、高校生以下・神戸市内在住の65歳以上 無料

※()内は有料入館者30名以上の団体料金。※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

※学生の方は、学生証、生徒手帳などをご提示ください。※65歳以上の方は、年齢とご住所が確認できるものをご提示ください。

主催：神戸ファッション美術館、
神戸新聞社、毎日新聞社
後援：サンテレビジョン、ラジオ関西
協力：総研会、日東電工
展示協力：大阪府立女子大学

特別展

「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展 THE MEMORIAL」

2024年4月13日(土)～6月16日(日)

「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展 THE MEMORIAL」

～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女～

『天空の城ラピュタ』『火垂るの墓』『もののけ姫』など、国民的アニメーション映画で美術監督を務めた山本二三（やまもと にぞう）。弱冠24歳で『未来少年コナン』の美術監督に抜擢されて以来、日本のアニメ界を代表する美術監督として多くの名作を支えてきましたが、2023年8月19日、惜しまれながらもこの世を去りました。

本展は追悼の意を込めて、名作映画の手描きの背景画やイメージボード、美術設定の他、亡くなる直前まで描いていた漫画「勘次ヶ城(かんじがしろ)」に関する展示等約250点を紹介します。確かな画面構成と細部の精緻な描き込みで、空想上の異世界から現実の生活空間、自然の風景にいたるまで幅広い表現を描き分け、アニメーションの映像美を高めた山本二三の背景美術の世界が広がります。

神戸は『火垂るの墓』の舞台でもあり、「山本二三展」の始まる地でもありました。それに伴い、本展では特別に展示する作品もあります。山本二三にとって縁の深い神戸で、故高畑勲・宮崎駿の両監督を支え、日本のアニメーションを世界に誇る文化へと押し上げた诗情溢れる背景美術の傑作をどうぞご覧ください。



展示構成

第1章…冒険の舞台

『天空の城ラピュタ』や『未来少年コナン』『ルパン三世』など、キャラクターが大活躍する冒険のための背景描写を一堂に集め、山本二三がいかんにして空想上の建造物や自然を具現化してきたのかを紹介します。

第2章…そこにある暮らし

懐かしい気持ちや時間が思わず動き出しそうな『じゃりん子チエ』や『火垂るの墓』、『時をかける少女』の名場面。登場人物の感情をも考慮して綿密に設計された色彩や構図は、時に実写以上に一瞬の場面を強く印象づけます。

第3章…雲の記憶

夏空に浮かぶ積乱雲や暮れていく夕焼け空、北国を覆う雪雲まで、実写的である以上に「いつか見た、あの空」と記憶を揺り動かす、山本二三の代名詞となってきた雲の描写に注目します。

第4章…森の命

『もののけ姫』で描かれた「シシ神の森」の黒を基調とした水面や足を踏み入れた時の柔らかさまで想起させる苔の表現は、写実性を超えた神聖さを感じ取れることでしょう。本章では、森や自然を題材とした作品の手掛かりに、日本のアニメーション映画史に残る風景を描いた作品の数々を展示いたします。

第5章…忘れがたき故郷

山本二三がライフワークとして取り組んだのは、背景美術で培った技術を生かして故郷の五島列島を描くことでした。郷里の島々を巡り、約10年かけて100点の作品を完成。2021年に完成が発表された「五島百景」を中心に、山本二三が描いた長崎・五島の姿をご覧ください。

特別展示

昨夏亡くなった山本二三の画業を偲び、これまでに兵庫県内で開催された「山本二三展」にあわせて描かれた風景画のほか、絶筆となった長崎県・五島の民話を描いた漫画「勘次ヶ城(かんじがしろ)」の下描きなどを、関係者から寄せられた追悼の言葉とともに展示します。

主な展示作品



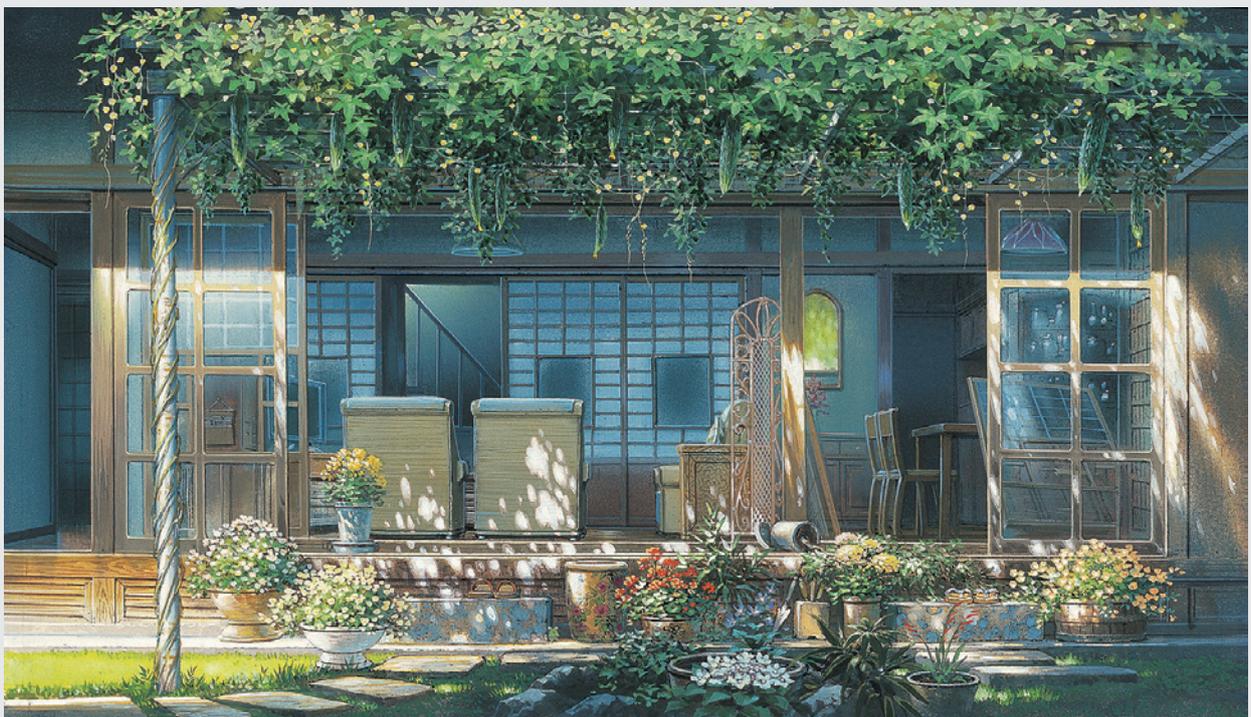
ルパン三世 PART 2 《アルバトロス、翔ぶ》1980年 原作：モンキーパンチ © TMS



名探偵ホームズ 《アジト》1982年 © RAI・TMS



火垂るの墓 《裏通り》1988年 © 野坂昭如／新潮社, 1988



時をかける少女 《ゴーヤ棚》2006年 © 「時をかける少女」製作委員会 2006

主な展示作品



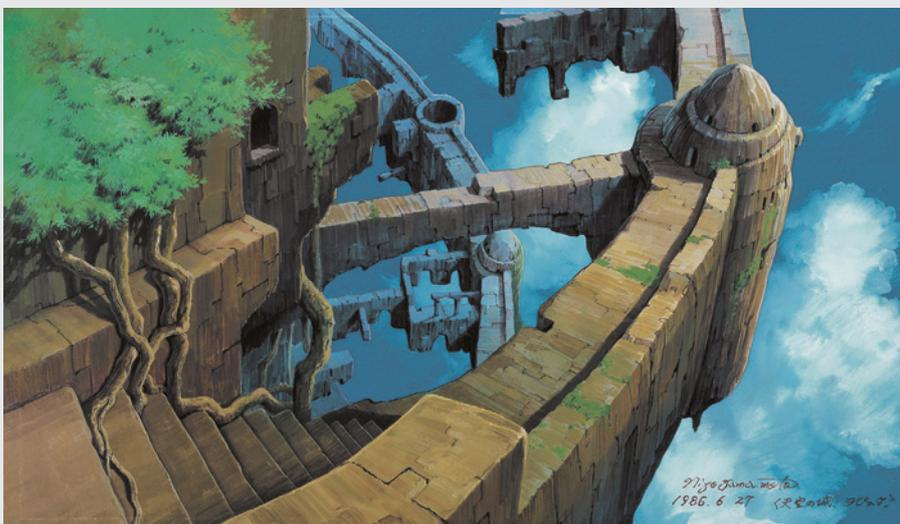
時をかける少女《理科実験室(1)》2006年 ©「時をかける少女」製作委員会 2006



《文月の神戸》2016年 © 山本二三／絵映舎



もののけ姫《シン神の森(5)》1997年 ©1997 Studio Ghibli・ND



天空の城ラピュタ《荒廃したラピュタ》1986年
©1986 Studio Ghibli

スペシャルイベント

山本二三美術館 副館長 山本鷹生 特別講演会

『山本二三 絵にかけた人生と情熱』

神戸ファッション美術館特別展「新・山本二三展 THE MEMORIAL」(4月13日(土)～6月16日(日))開催に際して、山本二三美術館の副館長である山本鷹生氏の特別講演会を実施します。

日本のアニメ界を代表する美術監督として『天空の城ラピュタ』や『火垂るの墓』、『もののけ姫』、『時をかける少女』など、数多くの名作を支えてきた山本二三。日本のアニメーションを世界に誇る文化へと押し上げた、詩情溢れる背景美術の傑作が生まれた創作活動に秘められたエピソードや作風、多くの人が惹かれるその魅力、そして、本展の見どころなどを、ご息子でもある山本鷹生氏にたっぷりとお話いただきます。



日時：4月13日(土) 14:00～15:00 会場：当館4階 第1セミナー室

定員 50名 (事前申込制・先着順) 参加費無料 ※要当日入館券

※参加お申込み要項については当館HPに掲載。(お申込み締め切りは3月31日(日))

特別展

「アニメーション美術の創造者
新・山本二三展 THE MEMORIAL」

2024年4月13日(土)～6月16日(日)

開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 月曜日、4月30日(火)、5月7日(火)
※4月29日(月・祝)、5月6日(月・祝)は開館

観覧料 一般 1,000(800)円
65歳以上・大学生 500(400)円
高校生以下無料

- ※ 神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。
- ※ カッコ内は有料入館者30名以上の割引料金です。
- ※ 神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

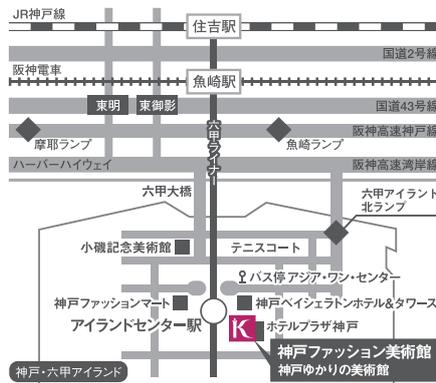
主催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社
後援：サンテレビジョン、ラジオ関西
企画協力：絵映舎、日東電工
展示協力：大阪樟蔭女子大学



〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 2-9-1
<https://www.fashionmuseum.jp>

お問い合わせ (広報担当)

TEL: 078-858-0050
FAX: 078-858-0058
Email: press@fashionmuseum.jp



アクセス

▶ 電車ご利用の場合

JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナーに乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分

▶ お車ご利用の場合

阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分